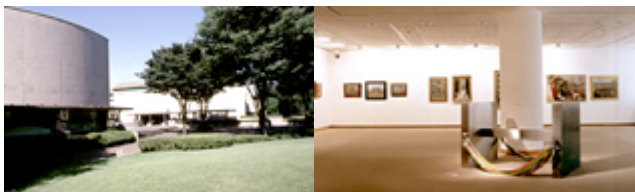
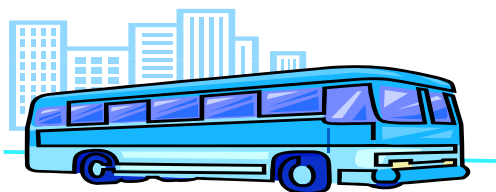


# 研修旅行の参加者募集!



美術館と資料館で考える

## 横浜山手・西欧との出会い

企画 工藤麻子 世田谷学習センター客員教授

1. 日時 平成22年10月5日(火)
2. 募集人数 先着40名(予定)
3. 研修先(予定)
  - ①世田谷美術館
    - ・ミニレクチャー「文明開化と浮世絵」: 酒井忠康 世田谷美術館館長
    - ・館内見学: 清水真砂 同学芸部長
    - ・ヴィンタートゥール・コレクション鑑賞(別紙チラシ)
  - ②横浜開港資料館(現地での説明: 工藤客員教授)
    - ・特別展示「横浜山手 コスモポリタンたちの1世紀」(別紙チラシ)
    - ・閲覧資料 幕末~明治維新期の写真、浮世絵など
  - ③山手散歩(自由行動) **\*一部変更になることもあります。**
4. 行程(予定)

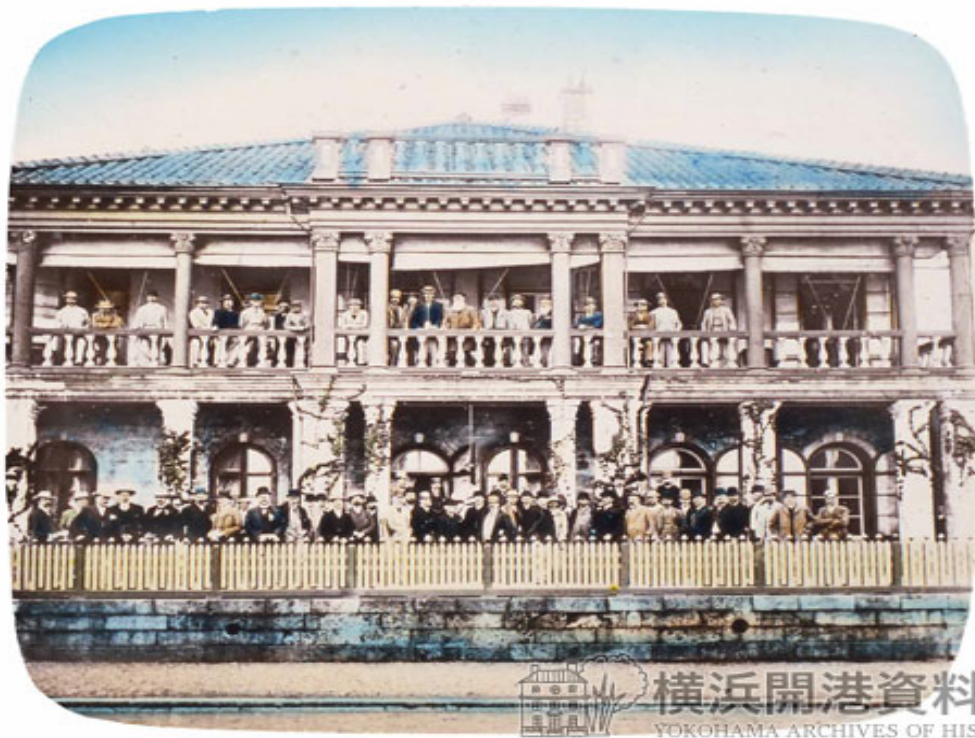
9:15	東京世田谷学習センター	集合	
9:30	//	出発	<b>*(注)バスで移動します。</b>
17:30	//	解散	
5. 昼食(予定) 横浜中華街で自由昼食の予定
6. 参加教職員(予定) 秋鹿所長、専任教員、客員教員、事務担当者
7. 参加費(予定) 1,150 円(入館料 ①(20名以上団体 1,000円)  
②(20名以上団体 150円))  
**\*飲食については自己負担です。**
8. 記念写真代 希望者は200円(当日徴収、小銭をご用意下さい。)
9. その他 詳細は、8月7日以降に事務室へお尋ね下さい。  
学生教育研究災害傷害保険(任意保険、100円)にご加入下さい。  
(各学習センター窓口で加入可、10月1日までに手続きを!)

**※お申し込みは8月7日~9月28日の期間に  
お電話または、事務室窓口で!**

# 横浜山手 コスモポリタンたちの1世紀

平成22年7月28日(水)~10月24日(日)

世界有数の国際都市、横浜は、開港後に作られた外国人居留地がその始まりです。欧米各国から来港した外国人の多くは商人でした。かれらは山手に家族と暮らして山下町の外国人ビジネス街で仕事をするという生活を楽しみ、国籍の違いを超えたコスモポリタンな社会を築いていきました。しかし関東大震災、さらに第2次世界大戦がおきると、多数の人びとが長年、住み馴れた横浜を去りました。居留地制度の撤廃と第1次世界大戦の影響も小さくありませんでした。一方で横浜にとどまった人びと、再び戻ってきた人びとも少なからずいました。本展示では、ご子孫の家々に伝わる思い出の品々を通して、横浜の欧米外国人社会の歴史をたどります。



横浜開港資料館  
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

外国人がつどった海岸通りのユナイテッドクラブ 明治期 横浜開港資料館蔵



横浜開港資料館  
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY



所在地：〒231-0021 横浜市中区日本大通3

TEL.045(201)2100

FAX.045(201)2102

### 交通：

みなとみらい線「日本大通り」駅3番出口から徒歩2分。

JR 関内駅(南口)、市営地下鉄関内駅から徒歩約15分。

JR 桜木町駅から市営バス「県庁前」・「大棧橋」下車、徒歩1分。

桜木町駅から徒歩約20分。大棧橋や山下公園のすぐ近くです。

重厚な雰囲気漂う旧英国総領事館の建物が目印です。

